

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 8月 23日

（報告先）
横浜市長

住所 東京都調布市調布ヶ丘1-18-1
調布センタービル5階
氏名 オリジン東秀株式会社
代表取締役 沢村 弘也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	オリジン東秀株式会社 代表取締役 沢村 弘也				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都調布市調布ヶ丘1-18-1 調布センタービル5階				
主たる事業の業種	大分類	I 卸売・小売業			
	中分類	58 飲食料品小売業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	1,996	kl	自動車の台数	台

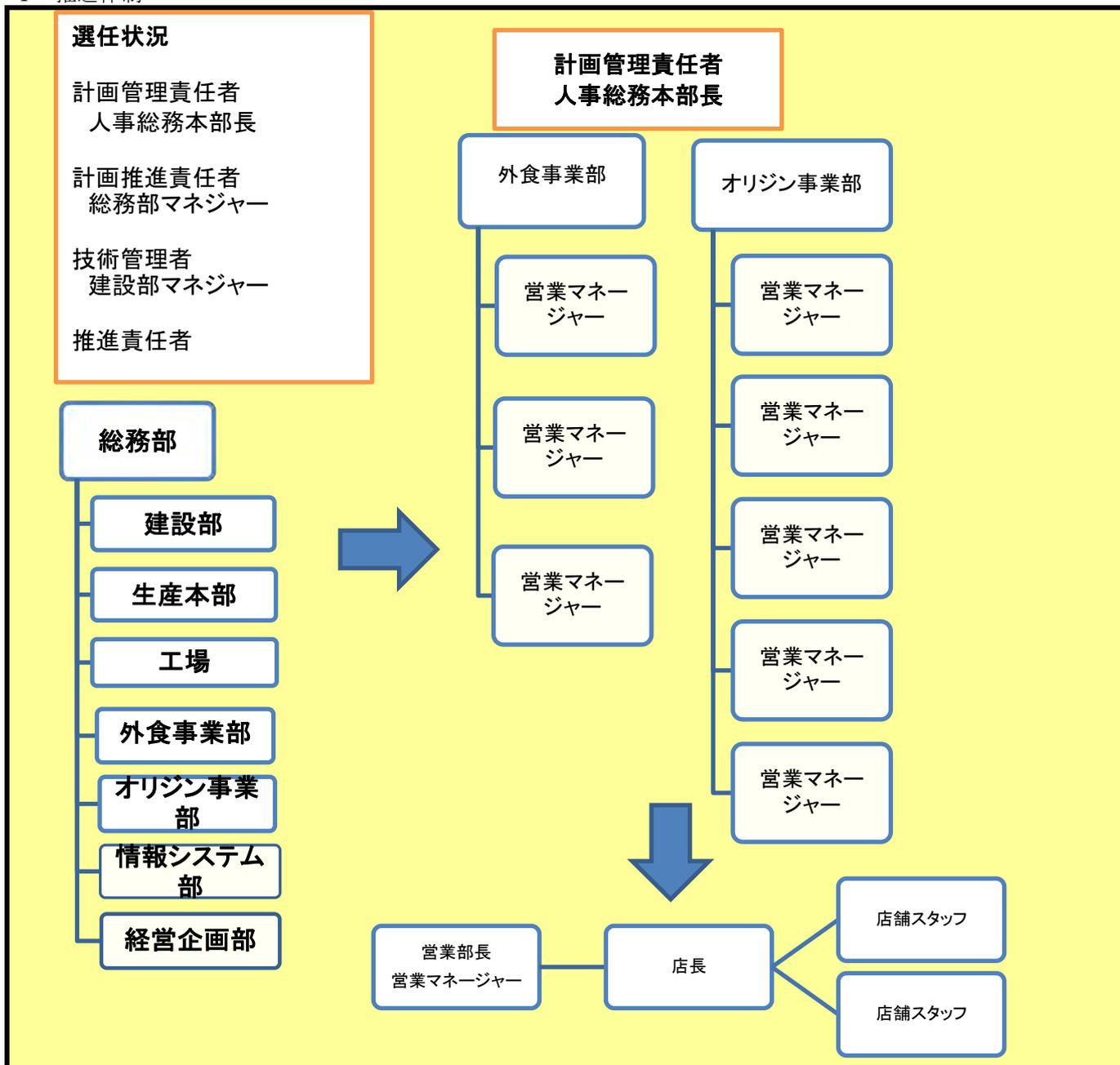
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 オリジン東秀株式会社の経営理念は、『わたしたちは、「楽しさ」「豊かさ」「快適さ」を追求し、食を通して、人々の暮らしに貢献し続けます』です。「安全」、「安心」、「健康」の実行を軸に企業成長を続ける事と、環境問題への取組みを実行する事は社会貢献の柱と考えます。そこで、次の方針を掲げ温室効果ガス排出削減に取り組めます。</p> <ol style="list-style-type: none">エネルギー使用量とCO2排出量を把握し、使用実態を確認しながらムダや問題点を発見（分析）し改善に努めるエネルギー消費効率の高い機器（LED・空調機器）の実験や、比較検討を行い導入を順次平成33年度までに計画的に行うエネルギー使用機器の定期メンテナンスによる機能・効率維持に努める店舗活性化に併せて、高効率機器の積極採用を行う

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	https://www.toshu.co.jp/company/activities.html
窓口で閲覧	閲覧場所	本社
	所在地	東京都調布市調布ヶ丘1-18-1 調布センタービル5階
	閲覧可能時間	午前9時～午後6時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	3,805	t-CO ₂			基準原単位	0.62	t-CO ₂ / m ²
	調整後	3,753	t-CO ₂			目標原単位	0.61	t-CO ₂ / m ²
目標年度 (2018年度)	目標排出量	3,767	t-CO ₂	削減率	1.0 %	削減率	1.6 %	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	温暖化対策としての従業員の意識というソフト面と、高効率機器への変更を順次行いました。厨房照明のLED化はすべて終了し、機器の寿命にあわせて第2世代のより高効率なLEDへの交換を進めています。							
事業者全体としての目標等	今後も出店の可能性の高い地域のため、既存店の老朽化設備の改廃等と併せて、3年間で1%の排出量削減に努めます。							
第一年度 (2016年度)	排出量	3,598	t-CO ₂	削減率	5.4 %	排出原単位	0.57	t-CO ₂ / m ²
	調整後	3,521	t-CO ₂	削減率	6.2 %		削減率	8.1 %
目標等の達成状況及び説明	店舗が67店舗から69店舗に増加した。運用面での対策は継続して行った。既存店のうち2店舗の活性化工事を行い、またリペア工事の際も省エネ機器の導入を推進してきた。電気使用量は店舗数が増えているが総量として減少した。確実に、活性化工事後は電気使用量が削減されている。							
第二年度 (2017年度)	排出量	3,752	t-CO ₂	削減率	1.4 %	排出原単位	0.64	t-CO ₂ / m ²
	調整後	3,582	t-CO ₂	削減率	4.6 %		削減率	▲ 3.2 %
目標等の達成状況及び説明	店舗が69店舗から64店舗に減少した。運用面での対策は継続して行った。既存店のうち4店舗の活性化工事を行い、一部省エネ機器を導入、またリペア工事2店舗の際も省エネ機器の導入を推進してきた。しかし、新商品を展開したため、店内調理機器の新規導入でガス使用量が増加した。							
第三年度 (2018年度)	排出量	3,965	t-CO ₂	削減率	▲ 4.2 %	排出原単位	0.68	t-CO ₂ / m ²
	調整後	3,720	t-CO ₂	削減率	0.9 %		削減率	▲ 9.7 %
目標等の達成状況及び説明	店舗が64店舗から、4店舗閉店、2店舗出店し、62店舗に減少した。運用面での対策は継続して行った。既存店のうち12店舗で活性化工事を行い、一部省エネ機器を導入した。しかし、新商品を展開したため、店内調理機器の新規導入で大きな削減ができていない。							
計画期間全体の排出状況に関する説明	<ul style="list-style-type: none"> 計画年度全体における排出量の変動要因 店舗設備の経年劣化および戦略的に改装を実施し、省エネ機器に入れ替えてきた成果が表れてきた。しかし、目標値ギリギリの水準であるため今後の目標設定、さらなる省エネ機器導入を推し進めたい。 原単位目標に対し、計画期間全体における変動要因 特に新店では、省エネ効果の高い機器の導入が推し進められ、店舗面積の分母に対し排出量が抑えられてきた効果があった。 							

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /		
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /		
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率		%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方										
事業者全体としての目標等										
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率	
目標等の達成状況及び説明										
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率	
目標等の達成状況及び説明										
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率	
目標等の達成状況及び説明										
計画期間全体の排出状況に関する説明										

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数 (所)	排出量の 合計 (t-CO ₂)						
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	67	3,805	69	3,598	64	3,752	62	3,965
合計	67	3,805	69	3,598	64	3,752	62	3,965

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数 (台)	排出量の 合計 (t-CO ₂)						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合 (%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度											
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況						
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	69/69	—	年度				実施済	64/64	—	年度				実施済	62/62	—	年度				
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	69/69	—	年度				実施済	64/64	—	年度				実施済	62/62	—	年度				
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/69	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		実施中	0/64	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		実施中	0/62	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/69	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		実施中	0/64	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		実施中	0/62	—	年度	図面としては一部保管。古い店舗については未確認。	順次整備中		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			非該当	/	—	年度	500K1未満の为非該当			
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施中	実施中	67/69	—	年度	狭い店舗で厨房を持ち、温度把握については困難。	チェックリストで売り場の温度管理を実施 暖房23℃以下 冷房26℃以上		実施中	61/64	—	年度	狭い店舗で厨房を持ち、温度把握については困難。	チェックリストで売り場の温度管理を実施 暖房23℃以下 冷房26℃以上		実施中	61/62	—	年度	狭い店舗で厨房を持ち、温度把握については困難。	チェックリストで売り場の温度管理を実施 暖房23℃以下 冷房26℃以上		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	該当設備なし			非該当	/	—	年度	該当設備なし			非該当	/	—	年度	該当設備なし			
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	3/69	—	年度	厨房LED化はほぼ終了。客席等は活性化次第の為。	売り場については活性化工事時に設置		実施中	7/64	—	年度	厨房LED化はほぼ終了。客席等は活性化次第の為。	売り場については活性化工事時に設置		実施中	11/62	—	年度	厨房LED化はほぼ終了。客席等は活性化次第の為。	売り場については活性化工事時に設置		
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	69/69	—	年度				実施中	63/64	—	2018年度		対応中、待機モードの設定予定		実施済	62/62	—	年度			待機モードの設定	
	15	機器性能管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			非該当	(設備の種類) /	—	年度	該当設備なし			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況				
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度					/	—	年度			
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度					—	/	年度					—	/	年度			
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度					—	/	年度					—	/	年度			
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度					/	—	年度			
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度					/	—	年度					/	—	年度			

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	245	東京電力エナジーパートナー(株)
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	1. 食品廃棄物のリサイクル実施 2. 廃食油の油脂製品へリサイクル化 3. 容器、レジ袋の肉薄化 4. 社員のクールビズ
計画期間内に実施する対策	上記内容を計画期間も継続実施
第一年度実績	上記対策を継続して実施した。既存店のLED化と、新店ではLED照明、冷凍冷蔵庫、空調機等の省エネ仕様を採用して温暖化防止へ意識を持って取り組みを継続している。
第二年度実績	上記対策を継続して実施した。既存店のLED化と、新店ではLED照明、冷凍冷蔵庫、空調機等の省エネ仕様を採用して温暖化防止へ意識を持って取り組みを継続している。
第三年度実績	上記対策を継続して実施した。既存店のLED化と、新店ではLED照明、冷凍冷蔵庫、空調機等の省エネ仕様を採用して温暖化防止へ意識を持って取り組みを継続している。

14 実施状況等に対する自己評価

弊社は、すべてはお客様満足のために「商品」「サービス」の向上に努力してきましたが、今後は「環境」の視点を重要視しなくてはならないと自覚しています。持続可能な社会・環境が無ければ弊社の存続はあり得ません。本年度の実施も不十分であります。店舗改装を計画的に進め、環境保全のためにできることを着実に進めることを継続していきます。